

研究主題 **岩手県内小・中学校の家庭学習実施状況に関する調査研究（小学校）**

【研究担当者】 大坂越郎

【この研究に対する問い合わせ】

Tel 0198-27-2735 FAX 0198-27-3562

E-mail kyouka-r@center.iwate-ed.jp

I はじめに

この研究は、県内小・中学校の教員及び児童生徒等を対象とし、家庭学習に関する実態調査をとおして、県内小・中学校における家庭学習の在り方にかかわる傾向や課題を明らかにし、各学校の指導法改善の方向性を見出す動因の位置付けとして行ったものです。

II 調査対象及び回答率・回答人数

1 県内全公立小学校の教員を対象とした調査

- (1) 教務主任調査
県内小学校308校より回答（回答率75.3%）
- (2) 学級担任調査（第3学年及び第6学年の学級担任、各1名を対象）
県内小学校304校より回答（回答率74.3% 第3学年担任288名、第6学年担任294名）

2 県内抽出公立小学校の第6学年児童及びその保護者を対象とした調査





- (1) 児童調査（県内小学校より、38校の第6学年1学級の児童を対象）
38校589名より回答
- (2) 保護者調査（同上の児童の保護者を対象）
38校563名より回答

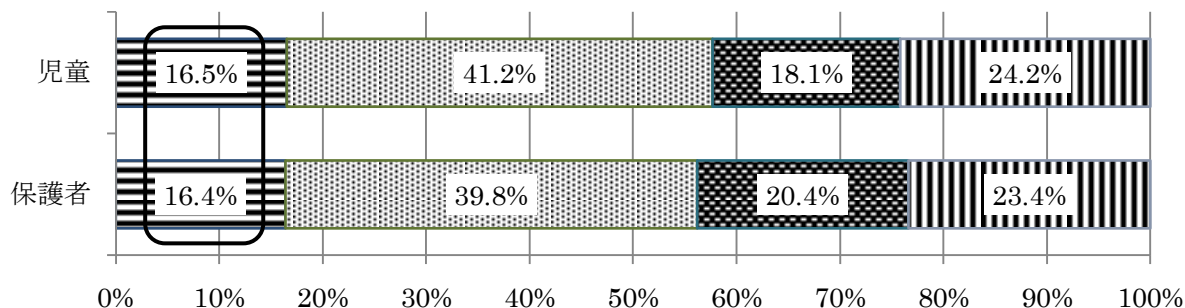
III 調査結果の分析と考察

1 帰宅後の時間のつかい方について

【小学校児童調査】質問16 【小学校保護者調査】質問12

帰宅後、ねるまでの時間のつかい方を考えて生活しましたか。

-  時間のつかい方を考えて、そのように生活できた
-  時間のつかい方は考えていたが、そのとおり生活できないこともあった
-  時間のつかい方は考えていたが、そのとおり生活できないことが多かった
-  時間のつかい方を考えないで生活することが多かった

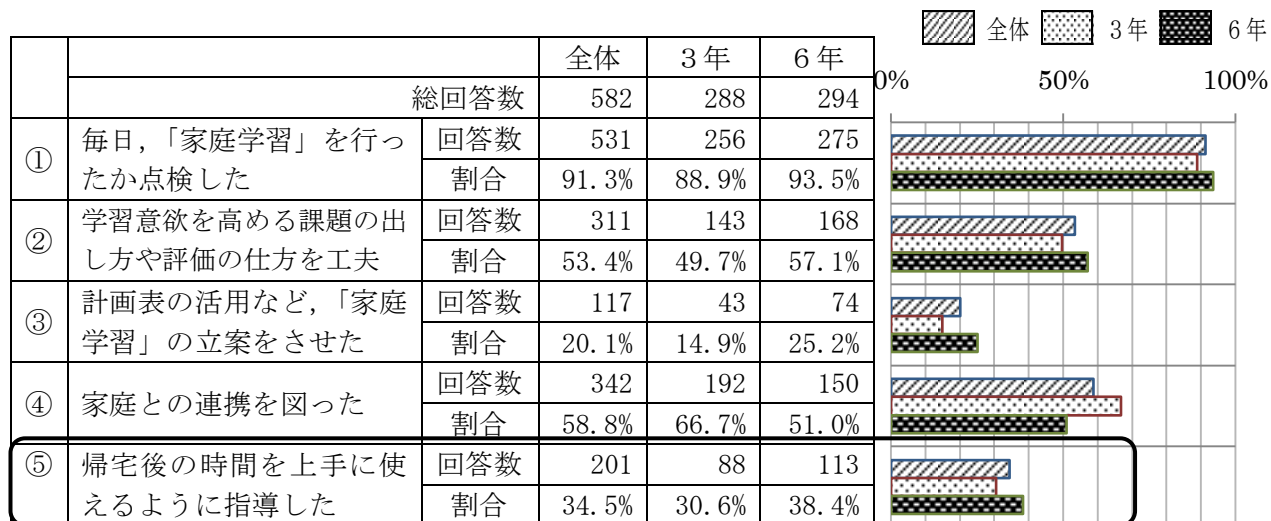


◇「時間のつかい方を考えて、そのように生活できた」と回答した児童は16.5%、保護者は16.4%でした。

このリーフレットの考察には、紙面の都合上、掲載できなかった調査結果から記述した部分も含まれています。本調査の全集計結果及び「分析と考察」は当センターHPに掲載しておりますので、ぜひ、そちらをご覧ください。<教育センターHP <http://www1.iwate-ed.jp>>

【小学校学級担任調査】質問11

「家庭学習」の習慣化を図るために、どのようなことを行いましたか。(複数回答可)



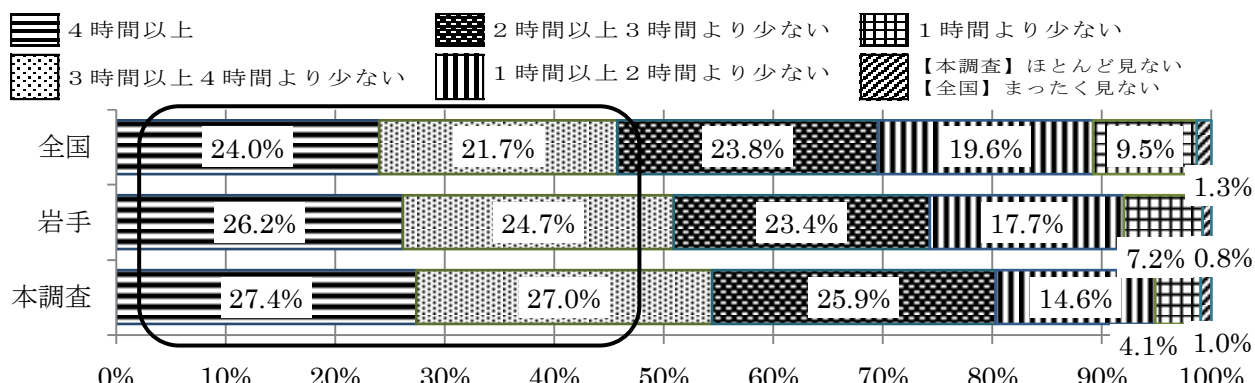
◇「帰宅後の時間を上手に使えるように指導した」は、全体で約34.5%でした。

【平成21年度全国学力・学習状況調査】児童質問紙(12)

ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしますか。(テレビゲームをする時間は除きます。)

【小学校児童調査】質問18

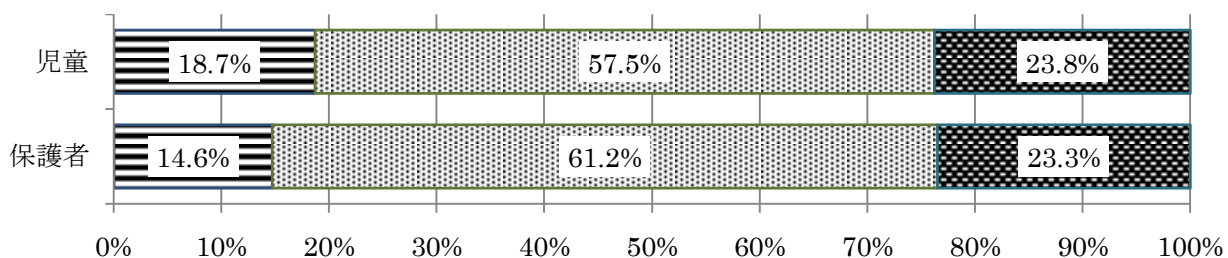
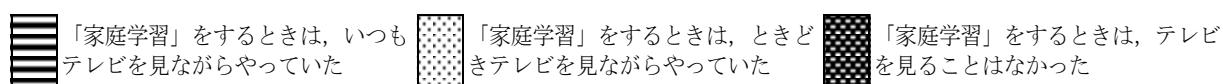
ふだん(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビを見ましたか。



◇本県児童のテレビ等視聴時間は、全国学力・学習状況調査及び本調査において、全国平均よりも長い傾向があります。

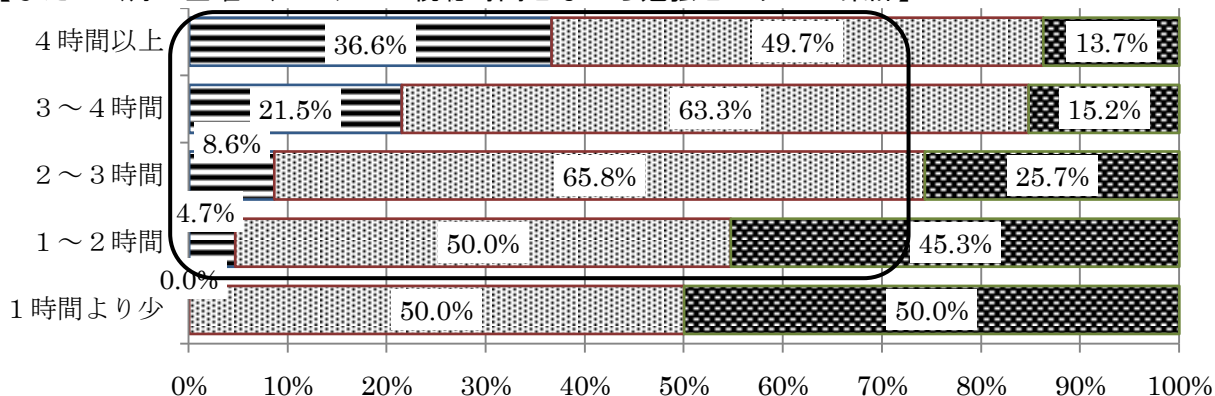
【小学校児童調査】質問7 【小学校保護者調査】質問5

(お子さまは、)家庭学習をするとき、テレビが気になりますか。



◇家庭学習をするときに、「ながら勉強」をしていると考える児童は76.2%、保護者は75.8%でした。

【ふだん（月～金曜日）のテレビ視聴時間とながら勉強とのクロス集計】



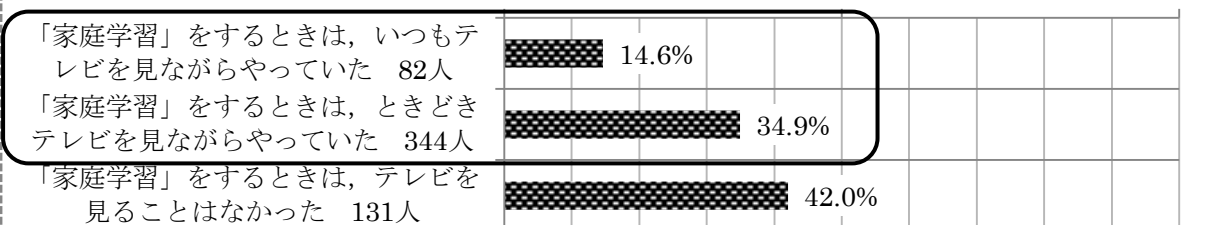
◇普段（月～金曜日）のテレビの視聴時間が長いほど、「ながら勉強」の割合が高いです。

【小学校保護者調査質問5と質問6，14とのクロス集計】

【小学校保護者調査】質問6

家庭学習について、家庭ではどのようなことを行っていましたか。（複数回答可）

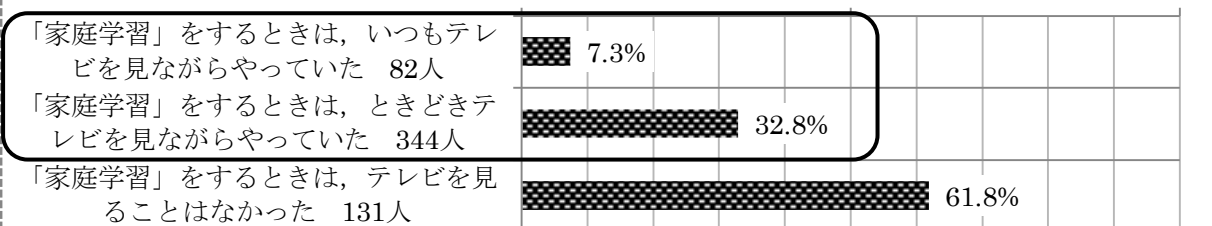
選択肢2 学習に集中できるように、テレビを消すなど環境に配慮した



【小学校保護者調査】質問14

お子さまのテレビやビデオの見かたについて、家庭でルールを作っていたこと、または心がけていたことなど選んでください。（複数回答可）

選択肢3 テレビを見ながら、家庭学習はさせないようにしていた



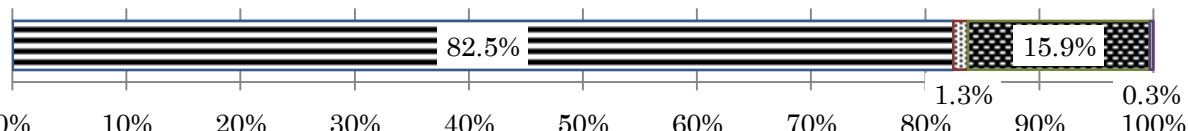
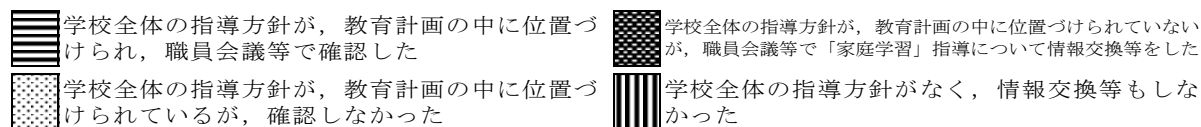
児童や保護者の意識から「帰宅後の時間のつかい方」を考えて生活できている児童は2割に達していません。まず、テレビの視聴時間の長さが課題として挙げられます。1日あたり4時間以上のテレビ視聴を「長い」と意識していない児童も約45%いました。また、1日あたりのテレビゲームをする時間が2時間以上の児童が約20%いました。（当センターHP掲載「集計結果」「分析と考察」参照）次に、家庭学習の「ながら勉強」が75%を超えていることも深刻な課題としてとらえるべきです。本県児童の家庭学習の時間は1時間程度（P5参照）の児童が多いが、ながら勉強での1時間に、どれほどの学習効果があるのでしょうか。さらに、保護者も子どもが「ながら勉強」をしていると考えているものの、「ながら勉強」をさせないような対応をしている割合が低いことも分かりました。

これらのことから、これからの家庭学習指導では、帰宅後の時間のつかい方全般について指導し、メリハリのある規則正しい生活のできる児童を育てる指導が必要だと考えます。同時に、家庭に対し望ましい家庭学習の環境を整えてもらえるように、理解と協力を得るための努力をこれまで以上にしなければならぬと考えます。

2 全教員による共通確認について

【小学校教務主任調査】質問12

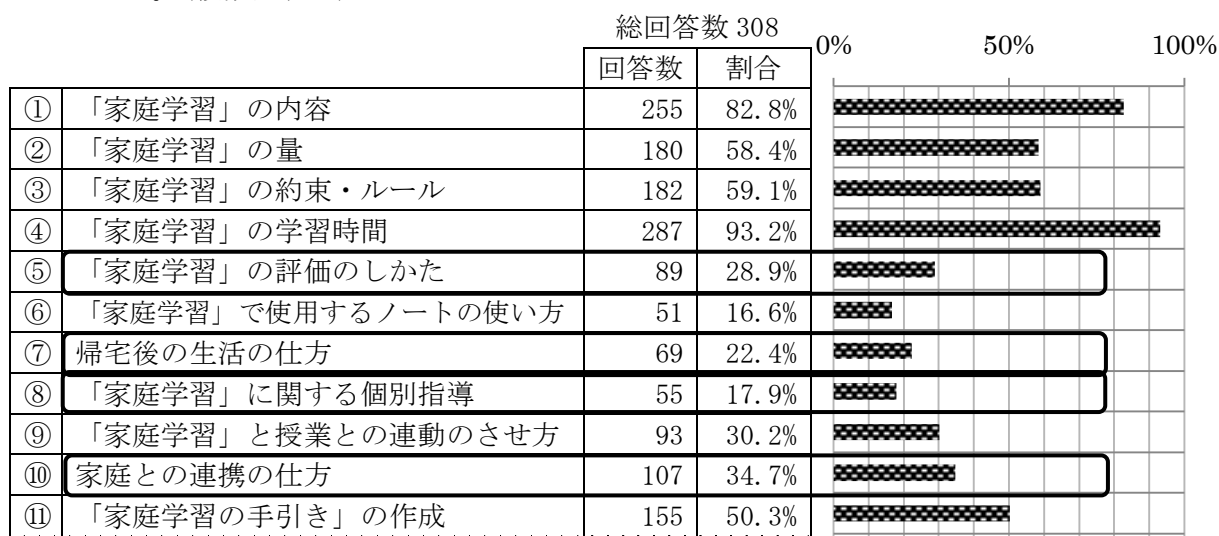
学校全体の「家庭学習」指導方針があり、共通確認しましたか。



◇学校全体の指導方針が、教育計画の中に位置づけられている学校は、約83.8%でした。

【小学校教務主任調査】質問13

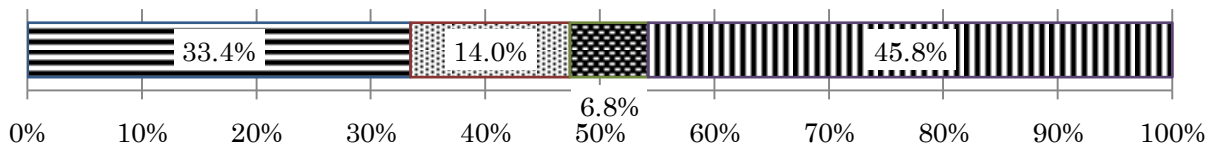
「家庭学習」に関する具体的指導について、全教員で共通確認していることを以下から選んでください。(複数回答可)



◇「家庭学習の評価のしかた」「家庭学習で使用するノートの手紙方」「帰宅後の生活の手紙方」「家庭学習に関する個別指導」の共通確認をしている学校が30%を下回っています。

【小学校教務主任調査】質問15

「家庭学習」の実態や意識に関する、学校独自の調査を行いましたか。



◇学校独自の調査を行った学校は、約54.2%でした。

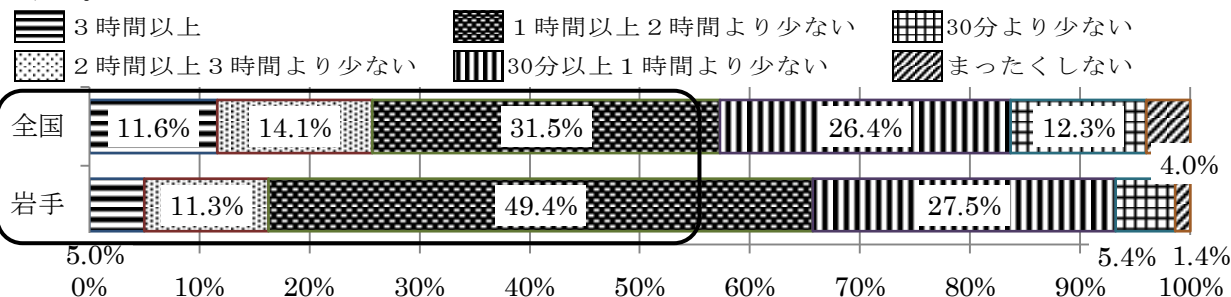
家庭学習の習慣化及び充実を図るためには、自校の児童や保護者の実態を把握し、その実態に応じた家庭学習の指導方針を設定し、全教員で共通確認することが重要だと考えます。

また、本県児童の課題が「テレビの視聴時間が長い」「家庭学習の時間があまり多くない」「ながら勉強をしている」であることを踏まえ、家庭学習をどのように評価すれば学習意欲が高まるか、家庭学習に対してどのような個別指導が効果的か、帰宅後に規則正しい生活をさせるにはどうしたらよいか等についても、自校の実態に応じた具体的指導の在り方を共通確認することが重要だと考えます。

3 宿題の頻度・評価・事後指導について

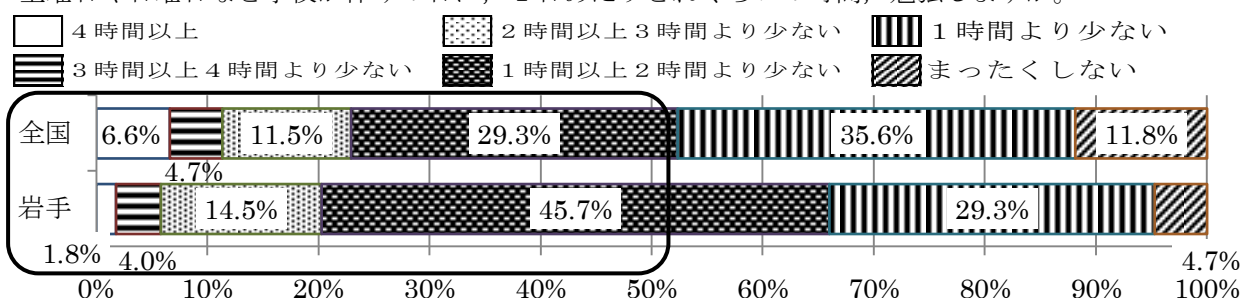
【平成21年度全国学力・学習状況調査】児童質問紙(16)

学校の授業時間以外に、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。



【平成21年度全国学力・学習状況調査】児童質問紙(17)

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。

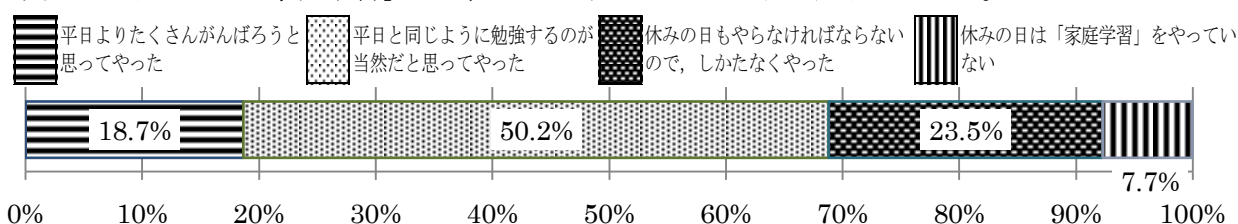


◇岩手県は、「3時間以上」学習する児童の割合が平日で6.6ポイント、休日で5.5ポイント、全国平均より低いです。

◇岩手県は、「1時間以上2時間より少ない」児童の割合が、平日で17.9ポイント、休日で16.4ポイント、全国平均より高いです。

【小学校児童調査】質問4

学校が休みの日の「家庭学習」には、どのような気持ちで取り組みましたか。

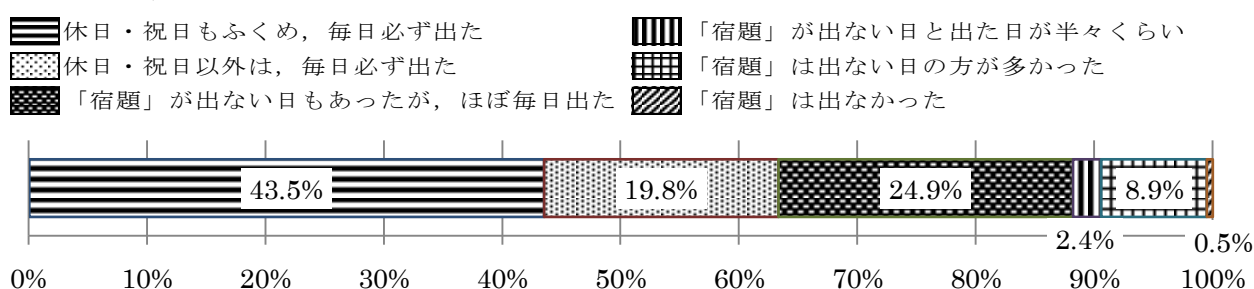


◇休日の家庭学習を「平日よりたくさんがんばろうと思ってやった」は、約18.7%でした。

◇休日の家庭学習を「しかたなくやった」「休みの日はやっていない」を合わせると、約31.2%でした。

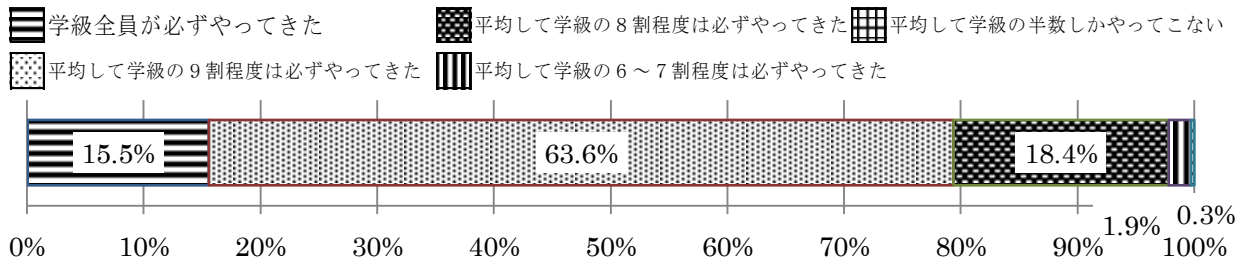
【小学校児童調査】質問8

「宿題」は、どれくらい出ましたか。



【小学校学級担任調査】質問18

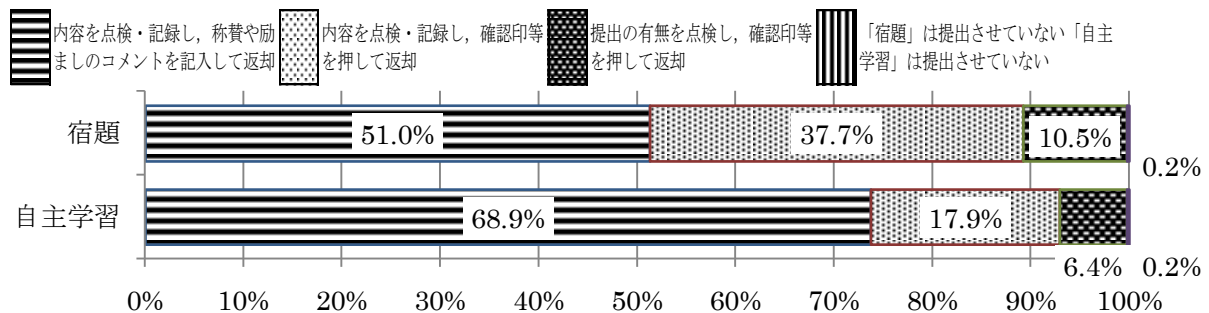
「宿題」に対する児童の実施状況はどれくらいですか。



【小学校学級担任調査】質問21・30

「宿題」はどのように返却することが多かったですか。

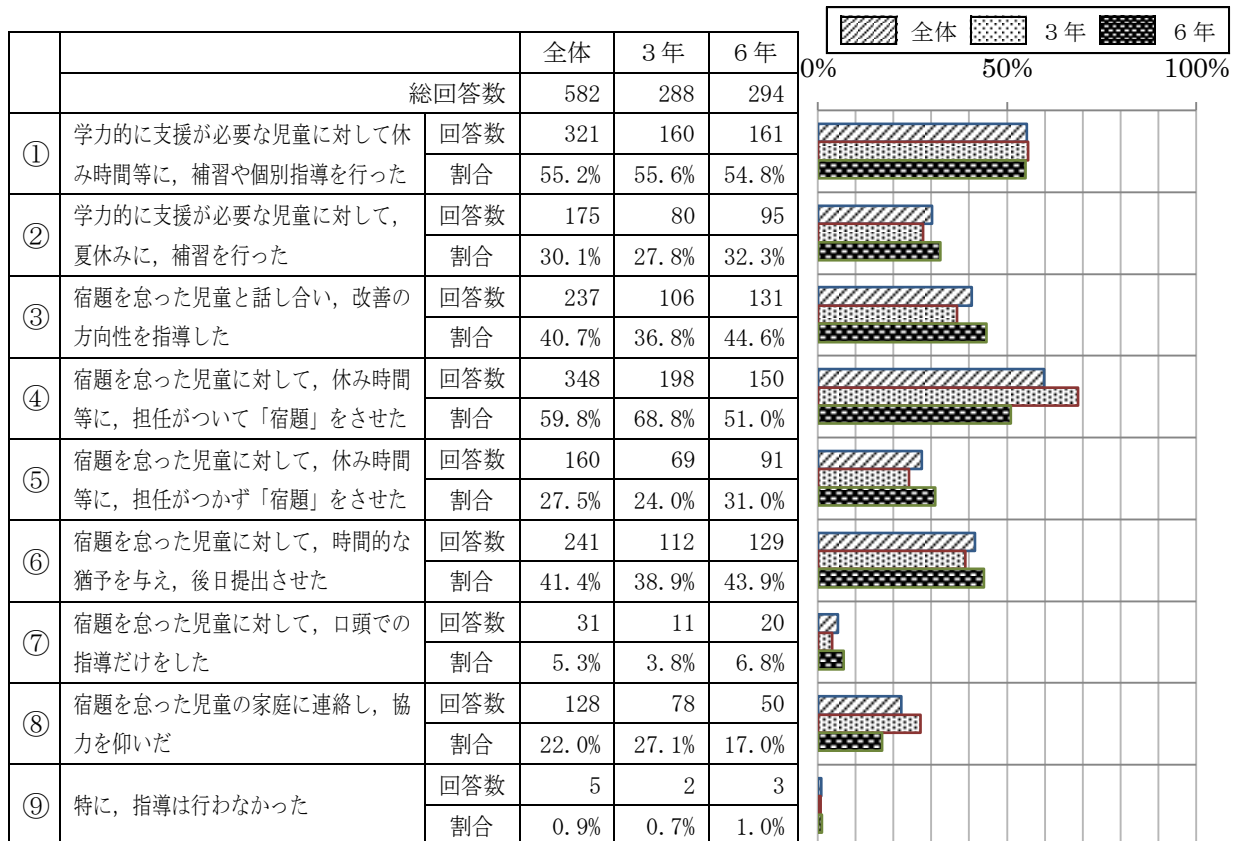
「自主学習」はどのように返却することが多かったですか。



◇「コメントを記入して返却した」は宿題では51%，自主学習では68.9%でした。

【小学校学級担任調査】質問22

「宿題」をやってこない児童に対する指導は、どのように行いましたか。（複数回答可）



本県児童の家庭学習の時間は、平日、休日ともに「1時間以上2時間より少ない」の割合が多いのですが、前述の「ながら勉強」の傾向を加味すると、家庭学習の時間が多いとは言えません。また、授業のある平日と自由な時間が多いであろう休日を比べても、休日の家庭学習の時間が増えている傾向は見られません。

学級担任からは、ほぼ毎日宿題が出されている現状があります。しかし、「休日・祝日も含め毎日必ず宿題が出た」のは半数以下です。もう少し宿題の量を増やしてもよいのではないのでしょうか。どうしても負担が大きい児童には個別に対応しながら、全体の家庭学習の底上げを図ってはどうか。高学年においては、家庭学習の時間を増やすとともに、休日にも家庭学習するのは当然であるという意識を高めていけるような指導が本県には必要ではないのでしょうか。

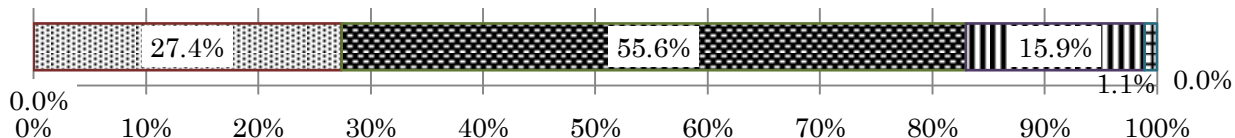
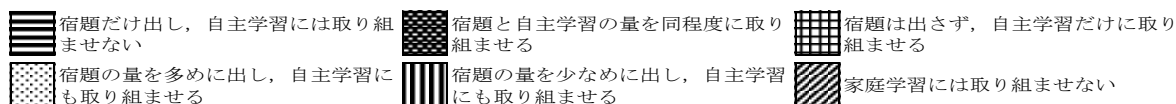
児童の学習意欲を高めることも重要です。

家庭学習への評価として、ハンコやシールをもらうよりコメントが書かれていた方が、家庭学習をしてよかったと思う児童が多いようです。(当センターHP掲載「集計結果」「分析と考察」参照) 児童のよさを具体的に認めてあげる評価は学習意欲につながるはずです。また、出された宿題はやるのが当たり前という意識をもたせるような事後指導、個の能力に応じた個別指導を行うことも必要です。学級担任は宿題を出すとともに、それに対する評価・事後指導をきちんとやることで、児童の学習意欲を高めることも重要だと考えます。

4 家庭学習の内容の充実について

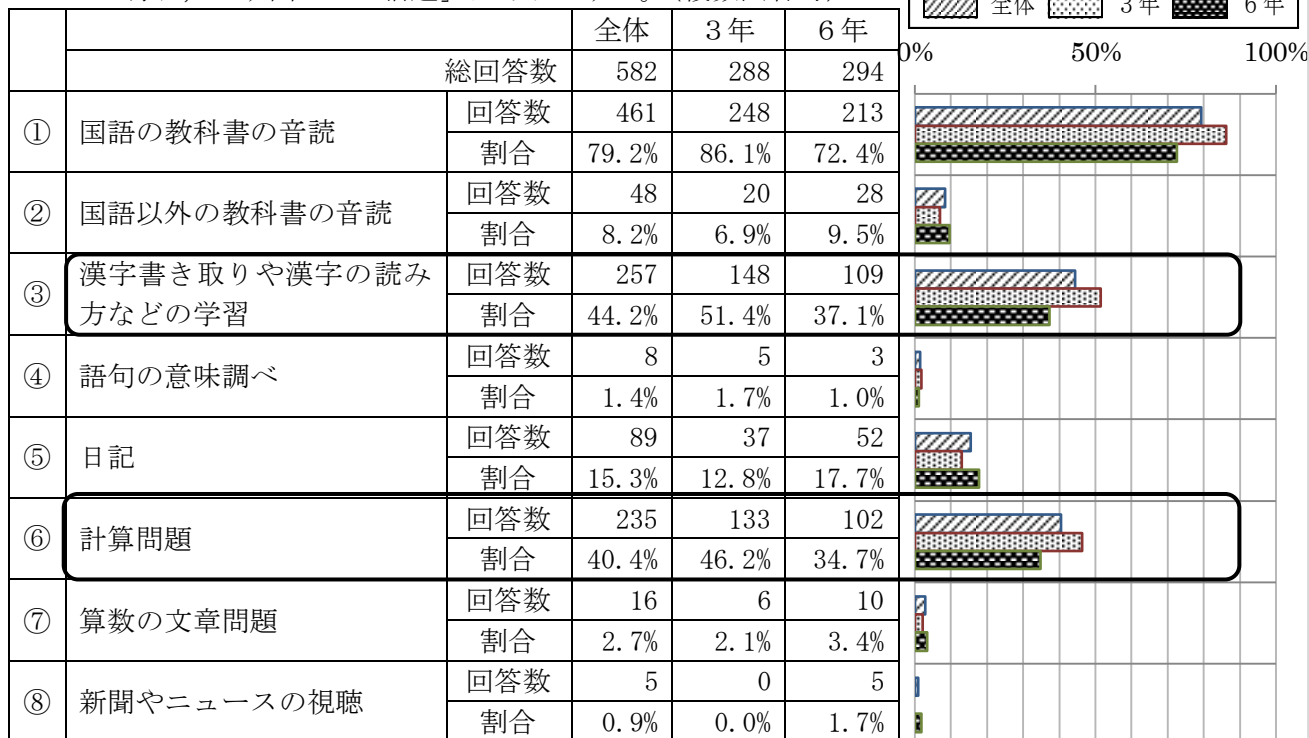
【小学校学級担任調査】質問33

これからの「家庭学習」は、どのようにしていくことが望ましいと思いますか。



【小学校学級担任調査】質問19

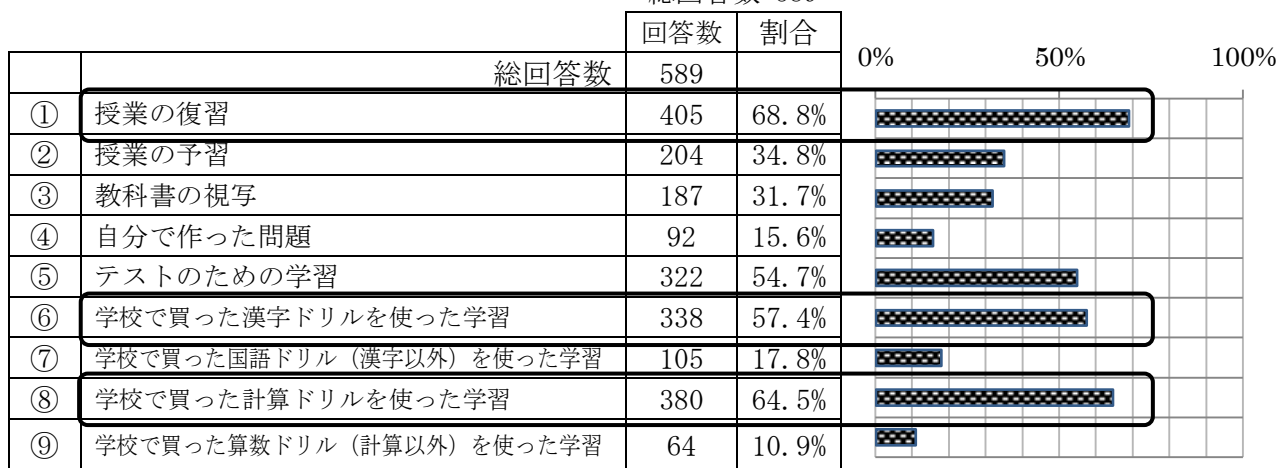
ほぼ毎日、必ず出した「宿題」はありますか。(複数回答可)



【小学校児童調査】質問 14

どのような自主学習に主に取り組みましたか。（答えをいくつ選んでもかまいません）

総回答数 589



【小学校保護者調査】質問 10

「家庭学習」について、学校や先生にどのようなことを望みますか。（複数回答可）



小学生のこれからの家庭学習では、宿題と自主学習の両方に取り組みせたいと考える学級担任がほとんどです。そこで学級担任は、様々な学習内容や学習の仕方を児童に提示するなどの工夫をしているようです。しかし、児童が主に取り組んでいる自主学習の内容は、宿題に出されている内容と類似したことの割合が高いようです。これは、宿題が国語（漢字書き取り等）ならば自主学習は算数（計算練習等）、宿題が算数ならば自主学習は国語ということが繰り返されることが多く、自主学習の内容面での充実が図られていない現状をあらわしているものではないでしょうか。

また、「家庭学習の質的内容を充実させる指導が難しい」と考える学級担任、（当センターHP掲載「集計結果」「分析と考察」参照）「自主学習のやり方をくわしく指導してほしい」と望む保護者の割合の高さからも、自主学習にうまく取り組ませることができていないことがうかがえます。

これからの家庭学習で、宿題と同等に自主学習を重んじていくのならば、例えば、国語と算数は、毎日、両方とも宿題としてきちんと出し、自主学習では、社会や理科などの調べ学習、児童の興味関心、知的好奇心から取り組むような学習をさせるなど、はっきりと区別することも一案ではないでしょうか。

家庭学習において児童に自主学習を求めるのであれば、どんな自主学習に取り組ませるか、どのように自主学習に取り組ませるか、自主学習をとおして育てたい力は何かなど、自校の実態を踏まえて話し合い、共通確認のうえ、学級担任は指導にあたらなければならないと考えます。自主学習は、決して「ノート〇ページ分やればよい」ということではないはずです。

また、学級担任が出す宿題についても、「授業との連動」という視点から工夫していく必要があります。授業と連動した宿題を出すことは、児童の学習意欲を高め、学習内容の理解の深まりや積極的な発言等につなげることが可能だからです。